

097 明治時代 自由民権運動の展開



福島の豪農出身の河野広中。戊辰戦争の時に司令官の板垣退助と出会い、1881年に板垣が自由党を結党した時に自由党員になりました。1882年には福島県令の三島通庸に弾圧されました(福島事件)。百姓出身の衆議院議長になりました。

< 士族中心の民権 の段階 >

1873.10 明治六年の政変

非薩長の板垣退助、江藤新平、副島種臣らが岩倉・薩長との権力闘争(征韓論争)に敗れて政府を去りました。

1874 民撰議院設立建白書 を 左院 に

板垣退助、江藤新平、副島種臣らが愛国公党を結成してこの建白書を左院に提出、今すぐの議会開設を要求しました。この建白書はイギリス人ブラックが経営する新聞の『日新真事誌』に掲載され、士族を中心とする民権運動が生まれました。平民はまだ江戸時代の身分意識が残っていて、国政への参加意欲は強くなかったです。士族を中心とする運動なので、武力を使う場合もある士族民権の段階です。

1874.2 佐賀の乱

佐賀の不平士族が江藤新平を首領にかついで武力反乱をおこしました。

1874.4 立志社 結成(土佐)

板垣が郷里の土佐に帰って同志を集めて立志社を起こしました。士族だけで、農民はまだ参加してない組織です。

1874.5 台湾出兵

琉球漁民殺害事件により台湾に出兵しました。これに抗議して木戸孝允が政府を去りました。

1875.1 大阪会議

板垣と木戸に政府に復帰してもらいました。条件として、漸次立憲政体を作る約束、左院の元老院への発展、戦前の最高裁判所にあたる大審院の設置、地方の声を聴く地方官会議の開催を認めさせました。

1874.2 愛国社 結成(大阪)

土佐にできた立志社のような全国の政社の中央組織である愛国社が大阪にできました。まだ士族だけの組織です。

1875.4 漸次立憲政体樹立の詔 公布

立法の元老院、司法の大審院、地方官会議も設置です。

1875.6 新聞紙条例、 讒謗律 公布

政府を批判する新聞の発行を停止できる条例です。

1876.8 秩禄処分 (金禄公債証書)

士族の収入である秩禄支給を全廃しました。

士族の反乱

1876.10 敬神党の乱 (熊本)

1876.10 秋月の乱 (福岡)

1876.10 萩の乱 (山口)

1877.2 西南戦争 (鹿児島)

近代化に乗り遅れた士族による武力反乱は失敗に終わり、言論による反政府運動に切り替えました。

明銭リタイア前進

佐賀の景色は秋の萩

- 1874 民選議院設立建白書
- 1874 立志社結成
- 1875 大阪会議
- 1875 愛国社結成
- 1875 漸次立憲政体樹立の詔
- 1875 新聞紙条例・讒謗律

- 1874 佐賀の乱(佐賀)
- 1876 敬神党の乱(熊本)
- 1876 秋月の乱(福岡)
- 1876 萩の乱(山口)

< 豪農民権 の段階 >

1877.6 立志社建白 提出

農民の願いである 地租軽減 も要求。

1878.4 愛国社再興

全国の政社の中央組織である愛国社は、士族反乱で自然消滅していましたが、これを板垣、片岡らが再興しました。

1878.7 地方三新法 公布

郡区町村編制法、府県会規則、地方税規則の3新法で、これにより府県会ができました。

→ 府県会 の地方政治への参加を通して

豪農層が国政への関心も高めました。

1880.3 国会期成同盟 結成

土佐の士族の 片岡健吉

福島の豪農の 河野広中

国会期成同盟の意義は、士族の愛国社と豪農出身の民権家と一緒にしたことです！これにより真の国民的な民権運動に発展しました。集まって国会を作ろうといいました。

1880.4 集会条例 発布

勝手に国会を作られてはかなわんと、政府は政治的なことで集まることを制限、必ず臨席警官をつけることに。演説を聞いていた警官が、演説内容が政府批判になると「弁士、中止!!」と叫んで乗り込みます。弁士も反抗します。突然ステージに警官という敵役が上がってくるので聴衆は大熱狂、豪農民権はかえってますます盛り上がりました。

1881.10 明治十四年の政変

大隈重信を追放し、10年以内の国会開設を約束しました。ただしこれ以上騒ぐと公約は守らないという条件つきでした。

→ 国会開設の勅諭 公布

1881.10 松方デフレ 始まり、農村窮乏化

大蔵卿が大隈から松方正義にかわり、軍事費を除く緊縮財政と増税を行いました。豪農層も政治運動の余裕がなくなり、農民は土地を手放して窮乏化、思想や行動も過激化しました。

激化事件

1882.4 板垣退助遭難 (岐阜)

板垣死すとも自由は死せず。

1882.12 福島事件 (熊本)

福島県令三島通庸が河野広中ら弾圧

1883.3 高田事件 (新潟)

栃木県令三島通庸

1884.9 加波山事件 (福岡)

爆殺未遂事件

1884.10 自由党解党

激化を統制する自信を失い解党です

1884.12 秩父事件 (埼玉)

最大の激化事件です。秩父事件は4000の農民軍と旧自由党員が武装して警察や役所を攻撃、軍も応戦して軍・警察と農民軍とも戦死者を出す激戦でした。

立地に国を集めて十四年

服着たカバさん鼻血ブー

- 1877 立志社建白
- 1878 地方三新法
- 1880 国会期成同盟
- 1880 集会条例
- 1881 明治十四年の政変

- 1882 福島事件
- 1883 高田事件
- 1884 加波山事件
- 1884 秩父事件